

2016年度 元気の出る信念会



今年の元気の出る信念会は、前年同様
ヒルトンホテル名古屋で開催しました。
新規会社様も今後どんどんご参加いた
だき、たくさんの業種の方との年初め一
発目の「異業種交流会」の場となるよう
ずっと続けていければいいと思ってお
ります。皆さま、本年もどうぞよろしくお
願い申し上げます！ 伊東 義弥

い来社考はのそよ間じる前い分よ
きるのえ今考こくのよいかがう改
たツ日る後えで自記うはらし良でめ
いー報上、方自に憶に昔そのもわ
とル、で自、身には変ののうもわ
思は手も分感の起曖わ調状か悪か
い幾書、を情変化な味の子態。くつ
ます。あ日なよに見感するのでは
り記こうにえるるためい
ま等とにるるためい
す、だ変化さ残し
。振と化形でない
有り感せし
効返じても、
にるまいて、
活用とたくお
しが。かくの
て出会の時

いて有なが読まみ較年1
で見りい至みた返しのヶ月
で見るま判ら取そして境は
だす断なれのてな目は1
。をいまま状みにを1
こ下部。にすまがふ年の
ものす分。際とわ振12
。そのもそ際とわ振分の
違にわれ内ての時か返の
い1れば容のの、と1
が年る、今よ分状私自分
見前の同のつの況の自分
て自意自て反が場合身
く分で分は応思は身が
るをきで自がいは波
の振るも分事出紋年
でり部変の細さかれと
は返分わ考かれ、読
なっもらえに、読

2016年も明けてはや1ヶ月が過ぎました。

自分の過去を振り返り、
未来に活かす

社長 森 直樹



杉原千畝

村田 恒夫（総務部）



先日、映画「杉原千畝 スギハラチウネ」を観てきました。杉原千畝は、第二次世界大戦下、外交官として赴任していたリトアニアでナチスの迫害から逃れてきたユダヤ難民に、日本通過ビザを発給した。1000人の命を救いました。外務省に背いてユダヤ難民に日本通過ビザの発給を決断した杉原領事代理は、領事館の閉鎖が迫る中、一日平均300人の発給ノルマを自分に課し、一人でも多くの人たちを救うため書き始めました。しかし、万年筆のペン先は折れ、替わりのペンは使い慣れないため指に豆をつくり、腕の痛みを我慢しながら書き続けました。さらに、領事館の閉鎖後も市内のホテルで、また、カウナス駅で、さらにベルリンに向かう列車の中でも、通過ビザに代わる「渡航証明書」を書き窓から渡しました。

『感動！』

杉原千畝に関しては、数年前、敦賀に行ったときに「人道の港 敦賀ムゼウム」へ寄ったことで興味を持ちました。「人道の港 敦賀ムゼウム」は、古くから大陸の玄関口として栄えた敦賀港の紹介とともにユダヤ人難民やポーランド孤児に対する人道に満ちた敦賀市民の心温まる交流の記録を通じて、「命の大切さ」「平和の尊さ」を伝えていきます。杉原千畝氏の功績を称えた資料、映像室があります。杉原ビザを持って敦賀に上陸したユダヤ人難民の数については、正確な統計資料が見あたらず、わかっています。ただ、1947（昭和16年）2月までの新聞記事から推計すると累計5,855人（他の新聞では総計は3,832人）。

映画を観た後に、杉原千畝氏の生まれ故郷である岐阜県八百津に「杉原千畝記念館」があるのをインターネットで知りました（近いうちに行ってきます！！）。

「あ、この人、仕事できるんだろうな」って

思う9つの瞬間

伊東 郁二（特販部）



先日、社内の森ちかさんより若手に送られた「表題の文章」

を、私も読む機会があり勉強させられました。冒頭には、『社会人を長年やってますと・・・

「この人は信用できそうだ」とか「あの人は距離をおいて付き合おう」といった、人の判断の仕方である「自分なりのアンテナ」が出来上がっている。と書かれていました。私自身、名刺交換後の数分で決めつけるところが良くあります。

「9つの瞬間」として、

1. メールのレスが早い

忙しい人ほど早く明確な回答・指示が出来る。打てば響く。

2. 時間を守る

「時間を守る」余裕を持つ。PDCAを計画し、回す行動習慣が身に付いている」上下関係に関係なく時間厳守できる。

3. 目的（ゴール）を意識している

何事にも「なぜ」「なんのため」を意識してるので議論に迷いが無い。

4. メモをとる

デジタル、アナログは問わずメモをとる。自分の記憶を当てにしない。

5. 残業前提で仕事しない

ムダを省く習慣があり定時で終わらせることを前提。

二度手間を嫌い、先延ばしにせずその場で片づける。

6. 条件反射でしゃべらない

考えてから発言でき、条件反射で賛同も拒否もしません。

7. ボールの保持者をハッキリさせる

「誰がボールを持っているのか？」をはっきりとさせ、都合の良い解釈をしない。

「誰が、何を、いつまでに」を明確にする。

8. 自発的にOne More Thingをつける

常に「Better」を目指す姿勢があり、言われた以上のことをやってくれる。

9. 語尾をハッキリさせる

失敗した時の保険を掛けて語尾を曖昧にせず言い切る・断言する。

私の時代は、先輩から盗んで身に付けていく最後の世代だったと思う。今は、こんな素晴らしい情報がどんどん飛び込んでくる時代になった。「早く気が付いた人が勝ち」なので、我々も頑張らないと若手に抜かれてしまう日がすぐそこまで来ていると改めて実感させられた。

卷き爪

小坂 美香（営業部）



以前から痛みが気になっていた、巻き爪の治療に行ってきた。私が行った治療は、「B/Sブレイス」という、グラスファイバー製の薄いプレートで爪の両端を引き上げて、正常な爪の形に矯正していく方法です。半透明の小さな板状のシートなので、目立たずペディキュアをする事も可能です。施術の流れは、まず消毒をします。そして、プレートの接着を良くするために、爪の表面をかるく削り、下地をつけ爪にプレートを貼り付けます。爪との段差をなくすために、プレートのエッジをうすく削り、最後に爪全体を専用の薬でコーティングして終了です。施術時間は1枚約15分で、私は両足の親指に行ったので、約30分かかりました。治療期間は個人差がありますが、約半年〜1年が目安で1ヶ月に1回、プレートの交換が必要だそうです。また、費用は病院にもよりますが、1枚五千円＋初診料二千円で保険が適用されない為、治療費が高くなる事がデメリットです。ただ、施術時間が短く痛みも少ないという事だったので、この治療を選びました。ちなみに、巻き爪の主な原因として

- ・先の細い靴やハイヒールなど靴による圧迫
- ・サポータータイプの上履きによる圧迫
- ・長時間の立ち仕事
- ・深爪
- ・爪水虫などによる爪の変形
- ・長時間のスポーツ

などがあるそうで、私の場合は靴と上履きによる圧迫が原因です。治療を始めてまだ1週間くらいしか経っていませんが、少しずつ痛みが和らいでいるような気がします。1か月後、どれくらいの変化があるのか分かりませんが、これからはできるだけ爪に負担をかけないように、注意していきたいと思います。



正月に食べるお雑煮。久々に食べている時に、ふと昔のころを思い出し、また食べたくなった。お雑煮は、地域によって違うが、お雑煮の評判が良かった。子供の頃、家で当りたり前と母の友達が遊びに来た時によく「お雑煮が食べたい」と言っていた。物には違いないが、す。今でこそテレビで見ると思っています。子供の間は、家で食べる。あるという事はよく聞きます。しかし、子供の間は、家で食べる。ていう物が当たり前の作る雑煮は醤油ベースのだし汁に、具は福岡県の出身の母の作る雑煮は醤油ベースのだし汁にする。め、かまぼこが入っており、そこにほうれん草、鶏肉、するもちを入れます。私はこの雑煮しか食べた事がありません。愛知県の雑煮はどういうものかなあと思いついたところ、煮たもちにかつお出汁の醤油ベースでトッピングは餅菜だけという感じらしいです。一般的には関西地方は白みそ仕立てで、東日本はすまし汁仕立てらしく具はその土地の産物が入るそうなんです。例えば東北なら山菜やキノコ、新潟ならさけやイクラ、千葉なら海苔、島根なら山の幸、漁村なら海の幸が盛り込まれるそうです。山村や鳥取の一部では小豆汁に餅を入れたり込まれるそうです。島根や鳥取の一部では小豆汁に餅を入れた小豆雑煮もあるそうです。雑煮に使っているのは角餅が焼いて入れ地味のある煮入れているので、角餅が丸餅代に人口が集中している意味があるそうです。角餅は江戸時代には丸餅ではなく、一度周縁では一つ角餅が使われるようになったそうです。その間に多々作られる角餅が、お雑煮があると思いましたが、子供な思ひから食べ慣れていた。お雑煮が一番ホッとします。味が、ろんな思ひ出も詰まっている。